

思いや問いをくらしにつなげる

中山町立豊田小学校教諭 6学年 深瀬 明子

実施年月日：令和3年6月7日～7月8日 19名

1 実践計画・指導のねらい

本実践は、「国の政治のしくみと選挙」「震災復興の願いを実現する政治」の単元にまいいで位置づけ、税金や政治が自分たちの生活とどのように関わっているのかを感じながら、そこから生まれる子どもたちの思いや問いから学習を展開することとした。子どもたちにとって税金と言えば、一番身近なのは「消費税」であり、教科書にも税金が使われていることはよく知っている。しかし、なぜ納めることが義務となっているのか、誰が税金の使い道を決めているのかなど、子どもたちの問いは、具体的な生活場面を見つめることでつながっていくと考えられる。そしてそこから政治や社会への関心を広げ、さらには自分の生活や考え方、生き方に目を向ける機会となると考えた。

2 単元構成・実際の指導状況

時間	学習内容	主な発問 (○)、子どもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	・国民主権とは何か、具体的な場面を通して考える。	○ 「国民主権」はどんな時や場面にあらわれているのだろう。 ● みんなの考えを聞いて決めることかな。図書館の本の希望調査もだ。 ● 選挙で選ばれた人が代表として国会議員とかになるって書いてあるよ。私はみんなのことを考えてくれる人を選びたいな。 □教科書「新しい社会」(東京書籍) □NHK for School「社会にドキリ」(国民主権)
2	・選挙の投票率が低い理由を考え、選挙の必要性について考える。	○ 若い人の投票率はなぜ低いのか。どうすれば上がるのだろう。 ● 自分の意見を出した方がいいよ。自分たちのためにも。 ● 投票所を増やしたりネット上で呼びかけたりしたらどうかな。税金の使い道も教える と関心が向くかもしれない。わからないと「まあいっか。」って投票しなくなると思う。 □教科書「新しい社会」(東京書籍) □NHK for School「社会にドキリ」(三権の役割)
3	・東日本大震災の被害とその後の復旧・復興の様子から、人々の願いや思いを考える。	○ 被災した人はどのような思いや願いをいっているのだろう。 ● もとの生活にどうやって戻れるのか不安だと思う。 ● 食べ物や住まい、お金をどうやってかせぐのか、すべてわからなくて頭が真っ白になると思う。だれかに助けてほしい。 ● とにかくお金が必要だと思う。みんなから集めた税金を使う必要があると思う。 □教科書「新しい社会」(東京書籍) □DVD 内閣府「自分の命は自分で守る―津波災害への備え―」 □NHK for School「社会にドキリ」(災害復旧と復興)
4	・租税教室を通して、税金の種類やその使われ方、税金への理解を深める。 	○ 税金にはどんな種類があり、どのように使われているのだろう。 ● 税金には約50種類もあるなんておどろいた。税金がなくなるとみんなの公園もなくなってしまう。税金はあってよかった。くらしを豊かにするために税金は必要だとわかった。日本は助け合って生きていくと思った。 ● 大切な税金の使い道を決めるのは国民だから、その代表である議員を選ぶ選挙の投票率が低いと、自分の意見や人々の願いが届けられなくなる。ぼくは選挙に行こうと思う。 □中山町住民税務課 税務グループによる租税教室 □DVD「マリンとヤマト 不思議な日曜日」 □副教材「わたしたちのくらしと税金」

【指導のポイント】≪1時間目≫

映像を通して、今まで気づかなかった身近なところに国民主権はあり、その大切さを感じていた。

【指導のポイント】≪2時間目≫

年代別で投票率を提示することで、問いが生まれ、これからどうすればいいかという思いにつなげることができた。

【指導のポイント】≪3時間目≫

写真や映像を見ることで、震災からの復旧・復興にどのくらいの税金が使われたのか、どのような協力があつたのか、自分から問いをもって調べたり、被災した方々への思いを膨らませ、自分の生活と照らし合わせて考えたりすることができた。

【指導のポイント】≪4時間目≫

税金がない生活を知ることで、その価値を改めて感じていることが子どもたちのふり返りの言葉にも出ていた。



3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

- ◎ デジタル教材や具体的な場面、数値を提示することで、子どもたちの思いや願い、問いがふくらみ、それらをどのように解決したらよいのか自分事として考えることができていた。様々な考えを共有する場面や自分の思いを表現する場面を確保することも関心を高めることにつながった。
- ◎ 単元をまいいで大きくとらえ、自分の生活とかかわらせて考えることで、社会の流れや仕組み、自分の意見をもって行動することの大切さに気づいていたことが、子どもたちのふり返りの言葉からも感じられた。
- ◆ これからの税金や社会のあり方、諸外国の事情など、子どもたちの問いが深まるよう、時間の確保をしつつ家庭での調べ学習などに発展させられると感じた。子どもたち同士での語り合いなども積極的に取り入れればよかった。